



# 日赤茨城

Red Cross Ibaraki

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

2025. 冬号

茨城県支部

## リリー文化学園 青少年赤十字に加盟



1,100名以上の児童・園児が在籍する、学校法人リリー文化学園の1校7園が青少年赤十字に加盟し、令和6年11月12日(火)に加盟式を挙行了しました。「気づき」「考え」「実行する」を合言葉に、青少年赤十字を教育に取り入れ、こどもの豊かなこころの育成を図ります。

発行元 日本赤十字社 茨城県支部

〒310-0914 茨城県水戸市小吹町 2551

TEL.029-241-4516

FAX.029-241-4714



県内の赤十字活動をSNSで発信中！



# 日赤茨城県支部の取り組み

## 災害救護

### 救護班要員研修を実施

10月31日(木)、日赤茨城県支部は常陸太田市・水府総合センターにて災害救護訓練を実施し、県内赤十字施設職員や地域奉仕団など総勢約100名が参加しました。訓練は能登半島地震を踏まえ、常陸太田市と日赤の災害対応力の強化をテーマに、震度6強の地震が同市で発生した想定で行われ、医療救護班が市の保健師と連携し、避難所の生活環境の評価や巡回診療を行いました。訓練終了後には、医療コーディネーターと救護班が振り返りと検証を行いました。

当支部では今後も、各関係機関と連携しながら訓練を実施するとともに、防災セミナーや救急法等講習を実施し、地域の災害対応力の向上に貢献してまいります。



地図上で避難所周辺情報を共有する職員

## 赤十字救急法等講習

### 2025年2月から3月に開催する講習のご案内

心肺蘇生やAEDの使い方など人間の命と健康を守るための各種講習を開催しています。さまざまな知識や技術を学ぶことができますので、是非ご参加ください。  
※講習予定は予告なく変更する場合があります。

日時	講習種	会場
2月11日(火) 10:00~15:00	救急法基礎講習	日本赤十字社 茨城県支部
2月15日(土) 9:00~17:00 2月16日(日) 9:00~16:00	救急員養成講習 (2日間)	日本赤十字社 茨城県支部
2月28日(金) 10:00~15:00	救急法基礎講習	日本赤十字社 茨城県支部
3月 1日(土) 10:00~15:30 3月 2日(日) 10:00~15:30 3月 3日(月) 10:00~15:30	幼児安全法 支援員養成講習 (3日間)	日本赤十字社 茨城県支部
3月14日(金) 10:00~15:00	救急法基礎講習	茨城県県南 生涯学習センター
3月15日(土) 9:00~17:00 3月16日(日) 9:00~16:00	救急員養成講習 (2日間)	茨城県県南 生涯学習センター



幼児安全法講習



受講費・お申込み方法などは、当支部ホームページをご覧ください。  
<https://www.jrc.or.jp/chapter/ibaraki/study>

## 青少年赤十字

### 日本赤十字社北関東三県支部による 青少年赤十字国際交流派遣を実施

7月21日(日)から26日(金)まで、日赤北関東三県支部(茨城・栃木・群馬)合同事業として、青少年赤十字メンバー及び指導者をマレーシア赤新月社に派遣し、赤十字事業の視察やメンバー間の交流を行いました。茨城県から高校生5名と、引率教員1名が参加し、お互いの文化を紹介するなど、現地メンバーとの親睦を深めました。



### 茨城県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センターを開催

8月6日(火)から8日(木)まで、水戸市少年自然の家において、学校や地域社会の核となるリーダーを育成することを目的とした宿泊研修会「リーダーシップ・トレーニング・センター」を実施しました。県内から35名の生徒が集まり、友情を育みながら、青少年赤十字のリーダーとして必要な自主的・自発的生活態度の育成を図りました。

## GX Green Transformation への取り組み

日赤茨城県支部および茨城県内の赤十字施設では、  
気候変動への対応の一つとして、  
グリーン トランスフォーメーション※を進めています。

#### <職員への啓発取組>

- ・使用電力量の見える化
- ・ペーパーレスの促進(会議資料・決裁のデジタル化)

#### <施設環境の整備>

- ・LED照明への切替えや人感センサーの設置
- ・施設の窓へ遮熱フィルムを施工し空調効率の改善
- ・公用車のエコカー車両への移行
- ・太陽光パネルの設置



茨城県赤十字血液センター  
太陽光発電システム



茨城県支部救護車両  
プラグインハイブリッド車(手前)

気候変動の影響に対し、わたしたちにできること(支部HP) →



※GX:化石燃料に頼らないクリーンなエネルギーの活用へ転換を進めること

## 赤十字奉仕団の活動

### 赤十字Eco&Cross奉仕団の活動報告

はじめまして、赤十字Eco&Cross奉仕団です。

私たちは、2007年に中央地区青年赤十字奉仕団から始まり、現在は特殊奉仕団として活動しています。「各々が自分の場所で出来ること」を探求し、「陰の力」となって活動することを目標にしています。エコキャップ活動は、気軽に実行できる小さな奉仕ですが、協働することで「世界の子どもにワクチンを提供する」という大きな成果を挙げることが出来ます。コロナ禍を経た今、改めて「赤十字奉仕団員の信条」を胸に、身近な奉仕を広げていきます。



赤十字Eco&Cross奉仕団のみなさま

#### 赤十字奉仕団は身近なボランティア組織です

ボランティア活動のページ(支部HP) →

市町村ごとにある地域赤十字奉仕団・特技や資格を活かした特殊赤十字奉仕団・学生や社会人で組織される青年赤十字奉仕団など、県内では約7,000人を越えるの団員の皆さまが、各団の特色を生かした活動を展開しています。(団員数は令和6年12月現在)



# 県内各赤十字施設の取り組み

## 水戸赤十字病院

## 新リニアック棟 竣工

2024年9月、当院に「新リニアック棟」が誕生しました。リニアックとは、「高エネルギー放射線治療装置」とよばれる機器で、主にがんに対する放射線治療に使用されます。本棟は、より高性能なりニアック装置を導入した施設で、従来よりも患者さまの身体的負担が少なく、がんの種類やステージに合わせた柔軟な治療が可能となりました。

当院では、放射線治療のほか、外科手術や化学療法などの複数の治療法を組み合わせる集学的治療や、ロボット支援手術や緩和ケアなども取り入れた幅広いがん治療を行っており、がんの診断・治療から在宅復帰、終末期のケアまで一貫した医療が可能です。

今後も、患者さま一人ひとりに合わせた治療ができるよう、全力を尽くしてまいります。



<https://www.mito.jrc.or.jp/>

## 古河赤十字病院

## 創立70周年記念事業終了



デジタルサイネージ披露会でのテープカット  
(左から副院長・院長・看護部長)



<https://www.koga.jrc.or.jp/>

1年にわたり継続してきた「創立70周年記念事業」が令和6年10月末をもって終了しました。令和5年11月に当院が創立70周年を迎えたことを記念し、同年12月の記念式典を皮切りに、構内道路の整備やリニューアル、記念誌の作成、リハビリテーション技術課主催の体力測定イベント『要チェック！ロコモ！』などを行いました。

事業の集大成として、患者さまの利便性向上を目的に、1階フロアにデジタルサイネージを設置しました。デジタルサイネージには休診案内やマイナンバーカードの普及啓発ポスターのほか、赤十字の国際活動をお知らせする動画や、義援金のご案内なども掲示しています。

引き続き当院へのご支援をお願い申し上げます。

明るい秋晴れの下で、乳児院のお祭りを行いました。色鮮やかな法被を羽織ると、子どもたちの期待も高まります。院内各所に設けられた模擬店を回ってお祭り気分を味わいました。

手作りのお金を大事に持って、それぞれ買い物へ。紐くじや人形すくいコーナーでは、真剣な顔でお目当てのものを狙う姿もありました。輪投げや的当てなどをお友だちと一緒に挑戦し、上手くできるとみんなに拍手されて得意顔！ジュースや駄菓子をつまんで休憩したり、お祭りメニューの焼きそばやアメリカンドッグを頬張ったりと、笑顔いっぱいの日となりました。

乳児院では季節ごとに行事を行い、伝統文化や楽しい特別な催しを体験できるようにしています。これからも子どもたちの嬉しい思い出をたくさん増やせるように、心に寄り添っていかれたらと思います。



<https://www.jrcsin.jp/>

## 茨城県 赤十字血液センター

## 若い力が未来を支える！10代20代献血キャンペーン

### 〈キャンペーン内容〉

- 【期間】 令和7年1月3日(金)～3月2日(日)
- 【会場】 献血ルームMEET・つくば献血ルーム
- 【対象】 **献血ルームで全血献血をした  
16歳～29歳までの方**
- 【記念品】 USB卓上加湿器

キャンペーン等のお知らせは公式LINEから



茨城県と共催で、10代20代の若い世代に献血を呼びかけるキャンペーンを県内献血ルームで実施します。

茨城県内での10代と20代の献血者はこの10年で25%も減少しており、このままでは将来、必要な血液が確保できなくなる恐れがあります。

現在、献血者の約70%は40歳以上の方々であり、未来の輸血医療を支えるには、若い世代の協力が不可欠です。

読者の皆様、ぜひ若い方に献血の話をしていただけませんか。

初めての献血は少し勇気がいるものです。身近な方からその背中を押してあげることが、「未来を支える大切な一歩」の大きなきっかけになります。

# 2025大阪・関西万博に「国際赤十字・赤新月パビリオン」を出展します



赤十字パビリオン 外観イメージ



赤十字パビリオン Zone 1のイメージ



赤十字パビリオン Zone 2のイメージ

2025年4月13日（日）から10月13日（月）までの184日間にわたり、大阪 夢洲を会場に大阪・関西万博が開催されます。赤十字は「国際赤十字・赤新月運動館」として国連などの国際機関と同じ区画にパビリオンを出展します。「人間を救うのは、人間だ。～ The Power of Humanity～」をコンセプトに、世界の人道危機、そこに立ち向かい、立ち上がる人々のヒューマンストーリーを通して赤十字の使命と人間のチカラを感じるパビリオンです。



パビリオンの詳細は  
国際赤十字・赤新月運動館特設サイト  
<https://expo2025.jrc.or.jp/>  
をご覧ください

次号の「日赤茨城」では会期中のパビリオンの様子や当支部からの参加レポートをご紹介予定です！

## 赤十字でつなぐわたしの思い。

### 遺贈・相続財産による社会貢献のご案内

故人様やご遺族の尊いお気持ちにお応えするため、遺言書によるご寄付や相続財産のご寄付を受け付けています。ご寄付は当支部の赤十字活動に大切に活用します。

なお、遺贈・相続財産寄付は、税制面での優遇が認められています。



遺贈・相続財産寄付に関する  
パンフレットを  
ご用意しています  
お気軽にご連絡ください  
日赤茨城県支部組織振興課  
Tel:029-284-1380(直通)

### チャリティ終活セミナーを開催しています

当支部では明るく終活を考える機会として、落語を交え、金融の専門家による終活の基礎も学べる「終活セミナー※」を開催しています。ぜひご参加ください。  
次回の開催予定は当支部ホームページなどでお知らせしています。  
※イベントの内容は変更する場合があります



## 「日赤茨城」読者アンケート



◀こちらの二次元コードから専用フォームでご回答ください！

抽選で30名様に赤十字グッズ詰め合わせをプレゼント！▶

回答締切：令和7年3月20日（木）23：59まで

※個人情報厳重に管理し、プレゼントの送付先情報に使用するほか、日本赤十字社茨城県支部からの各種ご案内、活動資金募集活動などに使用します。



商品写真は一例です。  
内容・提供点数は異なる場合があります

茨城県内で展開する赤十字活動には、県民の皆様の継続したご支援が必要です  
**日赤茨城県支部を活動資金でご支援ください**  
 活動資金のご寄付は税制上の優遇措置の対象です

活動資金のご協力方法

郵便局から払込

下部の「払込取扱票」をご利用ください

クレジットカード  
Amazon Pay

<https://donate.jrc.or.jp/>からお手続きください

口座振替

専用の「口座振替依頼書」をご用意しています。(当支部へご請求ください)

税制上の優遇措置について

ご存じですか？

**活動資金**

と

**国内義援金**

**海外救援金**

の使われ方

**活動資金**



県内外での災害救護活動  
 地域の防災教育・災害備蓄品整備  
 青少年赤十字（JRC）活動  
 赤十字救急法等の普及・資機材整備 など

**茨城県内の赤十字事業に役立てられます**

**国内義援金**



令和6年 能登半島大雨災害（輪島市）

被災地の方々の生活支援に役立てられます

**海外救援金**



赤十字の支援を受けている女性世帯主と会話する日赤看護師©IFRC

被災国の赤十字社が行う被災者支援活動に役立てられます

※義援金・救援金の募集や管理にかかる経費は活動資金から支出しています。

下の「払込取扱票」は日赤茨城県支部活動資金へのご協力専用です。

※国内義援金・海外救援金へのご協力は、各市町村社会福祉課などの窓口もしくは日赤茨城県支部組織振興課までご連絡ください。

※この払込取扱票は茨城県支部活動資金へのご協力専用です。  
 国内義援金・海外救援金・救急法受講料などの送金には使用できません。  
 ※赤十字へのご寄付は任意です。  
 この広報紙を含め各種ご案内には寄付を強制するものではありません。

払込取扱票																				
99	東京	口座記号番号																		
0	0	1	0	0	0	7	8	9	8	7	2	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
日本赤十字社茨城県支部												料金	備考		免					
加入者名												日赤茨城県支部活動資金								
おところ 〒												右の「受領証」は								
※												寄附金控除の申告に								
おなまえ												使用できます								
※												地区区分扱い会員								
お電話番号												日赤茨城2025冬号								
ご依頼人・通信欄												日附印								
◎日赤発行の受領証が必要な方は <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。□必要												裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第53203号)								
今回のご寄付は日赤茨城県支部の活動資金として、災害救護をはじめとした茨城県内の赤十字事業に活用させていただきます。																				
各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。												これより下部には何も記入しないでください。								

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	0	0	0	
加入者名	7 8 9 8 7 2						
金額	日本赤十字社茨城県支部						
千	百	十	万	千	百	十	円
おなまえ	様						
ご依頼人	日 附 印						
料金	免						
備考	免						

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。  
 切り取らないでください。  
 この受領証は、大切に保管してください。

# 企業・団体のみなさまへ/ いばらき赤十字法人サポーター制度のご案内

日本赤十字社茨城県支部では、当支部の事業活動を積極的に支援する企業・団体のみなさまとのパートナーシップの確立などを目的に「いばらき赤十字法人サポーター」制度を設けました。

## 制度概要



一定額以上当支部に活動資金のご協力を頂いた企業・団体様を  
当支部広報媒体でご紹介します



資格証を発行します  
社会貢献を内外にPRする上で  
ご活用ください

## 登録費用・会費

サポーターとしての  
費用・会費は無料です  
毎年1回以上、サポーター基準以上の  
活動資金協力をお願いします

## 登録方法

活動資金のご協力および申込書のご提出をお願いしております

詳しくは当支部ホームページ内、本制度ご案内ページをご覧ください  
(問い合わせ) 日赤茨城県支部組織振興課 TEL: 029-284-1380

## ご案内ページ



## 令和6年度いばらき赤十字法人サポーター

わたしたちは日本赤十字社茨城県支部の活動を継続的に支援しています。

株式会社秋山工務店

有限会社吉葉商店

株式会社弓削コンクリート工業所

茨城県信用保証協会

株式会社ほけんサポートつくば

株式会社ケースホールディングス

海老根建設株式会社

ハタヤ商事株式会社

金沢産業株式会社

茨城県学校生活協同組合

株式会社バリューファーム・コンサルティング

ヒューマン・ウェーブ・ジャパン株式会社

株式会社新みらい

来栖美商有限会社

湖南電設株式会社

※令和6年11月30日現在 (受付順・敬称略)

資金の有効活用のため、この受領証をもって日本赤十字社の受領証にかえさせていただきます。  
なお、本受領証は寄附金控除の申告にご使用いただけます。

払込みいただいた金額は個人については、所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒310-0914 日本赤十字社  
茨城県支部 組織振興課  
電話 029-284-1380 (組織振興課直通)

〈ご注意〉

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ATMではご利用いただけません。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は無料となります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

※この払込取扱票は茨城県支部活動資金へのご協力専用です。  
国内義援金・海外救援金・救急法受講料などの送金には使用できません。  
※赤十字へのご寄付は任意です。  
この広報紙を含め各種ご案内には寄付を強制するものではありません。